

藤沢商工会議所・藤沢市 経営発達支援計画（令和２年度分）に対する 事業評価会議の結果について

開催日時：令和３年６月１５日（火）午後２時～３時３０分

開催場所：藤沢商工会館５階 ５０２会議室

藤沢商工会議所・藤沢市経営発達支援計画に基づき、記載の事業（令和２年４月１日～３年３月３１日実績分）について、地域の状況を把握している外部有識者（４名）による、事業の検証会議を開催し、実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行った。

事業の評価については、当初想定していた目標と実際の達成度合いを比較し、以下（ ）内で示す割合に応じて判定した。

A評価：目標を達成することができた（100%以上）

B評価：目標を概ね達成することができた（80%～99%）

C評価：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）

D評価：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

E評価：未実施

外部有識者（順不同）

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 慶應藤沢イノベーションビレッジ
- ・かながわ中小企業成長支援ステーション（神奈川県産業労働局中小企業部中小企業支援課海老名駐在事務所）
- ・日本政策金融公庫横浜支店 国民生活事業
- ・神奈川県よろず支援拠点（中小企業診断士）

藤沢市経済部 ２名

参事兼産業労働課長

産業労働課主幹

藤沢商工会議所事務局 ５名

専務理事

常務理事

事務局長兼経営支援部長

経営支援部参事兼支援課長（法定経営指導員）

経営支援部振興課主幹（法定経営指導員）

経営発達支援計画に対する事業評価結果

次のとおり

藤沢商工会議所・藤沢市経営発達支援計画（令和2年度実績分）に対する事業評価結果

1. 地域の経済動向調査に関すること

事業等	評価			
①管内小規模事業者景気動向調査	A	A	B	A
②藤沢市景気動向調査	A	A	A	A
③国が提供するビッグデータの活用	A	A	B	B

講評等：未実施項目に関してもコロナ関連アンケートが実施されており、目標を達成していると考えられる。

①及び③は実績なしということであるが、それに代わるものとして、新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急アンケート調査を目標回数実施しているなど評価できるのでA評価としました。

通常の調査・分析に代えて、新型コロナの影響に関する緊急アンケートを4回も行ったことは評価できます。昨春のような緊急事態においては、迅速な情報提供が必要となりますので、引き続き取組みをお願いします。

藤沢市と商工会議所が連携しながら、予定通りの調査実施と公表を行っている。

2. 経営状況の分析に関すること

事業等	評価			
①経営革新セミナーの開催	A	A	B	A
②経営分析	A	A	A	A

講評等：目標を上回って達成していると考ええる。

分析件数については目標件数の倍以上の実績となっており高く評価できる。

コロナ禍においても、セミナーや本講座を目標に近い所まで開催したことは評価できます。分析件数も目標を大きく上回り、補助金や公庫のマル経資金につながったと思われますので、引き続き、伴走型支援への注力をお願いします。

コロナ禍ではあったが、予定通りセミナー開催を行うと伴に、コロナの影響を受けた事業者の支援を積極的に展開している。

3. 事業計画策定支援に関すること

事業等	評価			
①経営革新塾（事業計画策定セミナー）の開催	—	A	B	A
②事業計画の策定支援	A	A	A	A
③創業希望者等に対する事業計画策定支援	—	E	E	A
④事業承継計画策定支援	A	A	A	A

講評等：コロナの影響により開催できない件を除き、目標は達成していると考ええる。

③に関しては、コロナ禍の影響によりやむを得ないと思います。こうした状況下、事業計画策定件数が4倍以上となっており高く評価できます。

コロナにより、創業塾などは開催できませんでしたが、目標を大幅に上回る事業計画の策定をしていただいたことは評価できます。外部専門家や事業承継ネットワークなど外部と連携しながら、顧客の事業発展に資する計画策定支援の取組みを引き続きお願いしたい。

コロナの影響で一部実施できていない部分はありながらも、個々の事業者支援では大きな成果をあげている。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業等	評価			
事業計画策定後のフォローアップ	A	B	B	A

講評等：目標を大幅に上回って達成していると考ええる。

売上及び利益率増加事業者に関しては、コロナ禍の影響により確認が難しくやむを得ないと思います。対象事業者数は、目標に対し3倍弱と高く評価できます。

計画を策定するのみでなく、フォローアップを行い、内容を次回の計画策定に還元することにより、精度の高い計画にすることができます。多忙とは思いますが、引き続き、適切な進捗確認の取組みをお願いしたい。

フォローアップの事後確認ができていない状況はあるものの、フォローアップ件数自体では大きな成果をあげている。

5. 需要動向調査に関すること

事業等	評価			
①新商品開発に関する消費者アンケート調査	E	E	E	E
②観光客を対象とした購買動向調査	E	E	E	E
③需要動向分析セミナーの開催による小規模事業者支援	B	B	B	B
④地域経済分析及び地域特性分析システムの活用による需要動向調査	A	A	A	A

講評等：未実施項目はあるが、コロナ影響によるものであり、全体として目標は達成しているものと考ええる。

①②については、コロナ禍の影響によりやむを得ないと思います。④については、目標に対し4倍弱と高く評価できます。

一部未実施となったことは残念でしたが、新たなシステムを活用し、特に創業予定者の計画策定に資するような商圈分析や動向調査の情報還元をお願いしたい。

コロナの影響で未実施となっているものもあるが、やむを得ない面もある。実施可能なものについては努力して実施している姿勢が伺える。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

事業等	評価			
①展示会・商談会共同出展事業（B to B）	E	E	E	E
②需要・販路開拓に関する展示会開催事業（B to B、B to C）	E	E	E	E
③県内商工会議所・商工会連携によるビジネス交流会（B to B） 県外商工会議所協力による物産展等出展事業（B to B、B to C）	E B	C	C	E
④IT活用による需要の開拓（ザ・ビジネスモール、商圈分析）	B	A	A	A
⑤観光客をターゲットとした需要開拓	A	A	A	A
⑥海外展開による支援	A	A	A	A

講評等：未実施項目はコロナ影響でやむなし。全体として目標は達成されているものと考ええる。代替事業も実施済。

①～③はコロナ禍の影響でやむを得ない面があるが、③については代替事業を実施するなど工夫されており、また、④～⑥は目標を達成するなど高く評価できます。

コロナにより大きなイベントは中止となり、残念でしたがビジネスモールや商圈分析の取組みは着実に継続しており、評価できます。藤沢の良い所をさらに発信していけるような今後の取組みに期待します。

コロナの影響で物理的に密を避けざる得ないものも多く、未実施のものがあったとしても仕方ないと思われる。

7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

事業等	評価			
①市政懇談会・産業政策懇談会の開催	E	A	B	C
②地元食材を活用した「藤沢ブランド」創出事業	B	A	B	C
③藤沢駅周辺商店街・大型店共同販促事業（LOVE藤沢大抽選会）	E	E	E	C
④地域資源活用事業（藤沢宿・遊行の盆、ワイン祭り）	A	C	B	C
⑤商店街にぎわいまちづくり支援事業（まちゼミ）	E	A	E	D
⑥ふじさわ元気バザール事業	B	C	C	C
⑦藤沢の観光名産品・特産品認定事業	B	A	A	A
⑧エリアマネジメント導入に向けた取組	B	A	B	A

講評等：コロナ影響で実施できない項目はあるが実態的には目標通り達成しているものと思料。

③、④、⑥についてはコロナ禍の影響を受けてイベントが未実施（⑥は一部未実施）であったが、④については代替事業を行っていることからC評価とした。

他の大きなイベントは中止となる中、タイミングを見はからいながら、ワイン祭りのようなイベントを開催し、成功させたことは評価できます。コロナ禍で情勢の見極めが難しい所ですが、今後も地元を盛り上げられるような取組みの検討に期待します。

多数の人々が集まる取り組みは避けつつも、個別に展開できるものは着実に実施している姿が伺える。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業等	評価			
①近隣商工会議所・商工会との勉強会・情報交換	E	E	E	C
②関係支援機関との情報交換	E	E	E	C
③県・県商工会議所連合会との情報交換・勉強会	A	A	A	A
④経済4団体の情報交換	A	A	A	A

講評等：コロナ影響で自粛せざるを得ないものを除き、目標通り実施されたものとする。

①、②はコロナ禍の影響によりやむを得ない。

コロナ禍で外出や会合が難しい所でしたが、一部の勉強会などを継続されたことは評価できます。今後はオンラインなども活用しながら、他機関との連携継続をお願いします。

コロナ禍による自粛についてはやむを得ない面がある。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業等	評価			
①外部講習会等の積極的な活用	A	A	A	A
②現地指導型OJTの実施	A	A	A	A
③経営指導員会議の定期開催	A	A	A	A
④支援基幹システムによるデータベース化（情報共有）	A	A	A	A

講評等：目標通り実施されたものと思料。

特になし。

コロナ禍でも着実に研修を継続されたことは評価できます。

経営指導員の資質向上については着実に研修を進められている様子が伺える。

10. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること

事業等	評価			
事業評価に関する取組	A	A	A	A

講評等：計画通り実施されていると考える。

特になし。

事業内容に沿って取り組まれたことについて評価します。

事業全般において、コロナの影響によって直接的に開催を中止せざる得ないものの以外
は関係者の努力で着実に実施し、成果をあげている様子が理解できる。

11. 経営発達支援計画に基づく全体的な事業評価

評価			
A	A	B	A

講評等：コロナ対策支援等において、これまでにないような多数の相談等に対応されており、地域における多大な貢献をされていることを痛感しております。また、他地域にはない協礼金つなぎ資金制度を市・金融機関と連携して対応しているなど、顕著な実績もあり、この点でも計画外での地域貢献は極めて大きいと考えます。まだコロナ終息には至らない中、ご苦労が絶えないと思いますが、引き続き、市と連携して、小規模事業者を守っていただけることを祈念いたします。総合的にみて、目標を大幅に上回る実績であったと考えております。

令和2年度は新型コロナの影響が大きく、やむを得ず実施できなかった事業がいくつか見られるものの、国の持続化給付金を始めとしたコロナ関連業務に対する相談や支援、職員の感染防止対策など、混迷を極める中において、代替事業の実施や実施可能であった事業の目標達成率が高かったことなどからA評価としました。

コロナにより多くの事業が中止、中断を余儀なくされる中であっても、情報還元を始めとする一部はコロナ禍ならではの取組みを行い、少しでも会員企業の力になりたいという前向きな姿勢が伺えました。変化する情勢に中小事業者が立ち向かっていくには、商工会議所のサポートが必要です。他機関とも連携しながら、引き続き有効な施策の検討、実施をお願いしたい。

コロナの直接的な影響によって、休止・中止せざる得ないものは多々あった様に見受けられるが、その中であって、困難に見舞われた事業者に対してキメ細かいフォローをしている取組みについて高い実績を確保している。今日の、明日に困っている事業者に対して、今できることを目一杯支援している姿は、事業者から見ても大変心強いものがあつたのではないかと推察します。